

文学館だより

令和 2 年 1 月 1 日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 貴 日 高

ふるさとの日向の山の荒溪の流清うして鮎多く棲みき

昭和 2 年、正月に詠んだ歌。珍しく自宅で正月を迎えることとなり、静かで穏やかな歌が多く詠まれている。「鮎つりの思ひ出」25 首の 1 番目に掲載されている。『黒松』収録

今年もよろしくお願いいたします

あけましておめでとうございます
今年も皆さまにとってよき一年でありますようお祈り申し上げます
今年、牧水生誕135年、牧水祭第70回、文学館閉館15年を迎えます
併せて、『国民文化祭・みやざき2020』開催の年でもあります
今年も牧水顕彰の日々を、ここ生誕の地よりお伝えしてまいります
今年もどうぞよろしくお願いいたします



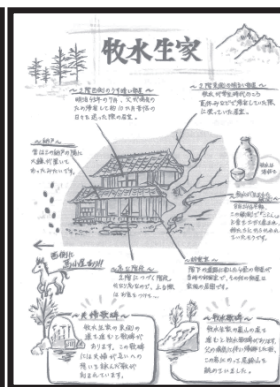
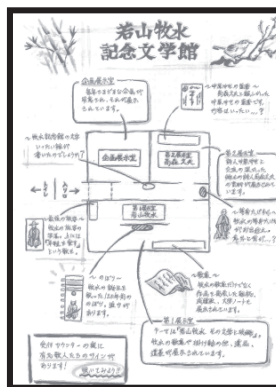
全九州高等学校総合文化祭 文芸部門120名 来館

全九州高等学校総合文化祭 文芸部門 / 九州高等学校文化連盟文芸大会

- 開催期日 令和元年 12 月 14 日（土）～ 15 日（日）
会 場 日向市中央公民館、日向市文化交流センター
実施内容 ①文学研修 《若山牧水記念文学館、若山牧水生家》
②全体交流会
③分科会Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（「文芸部誌」「散文」「詩」「短歌」「俳句」の 5 分科会）
④その他については省略させていただきます

県内高校の担当の先生方と部員の皆さんは、この日のためにたくさん準備をしてこられたことと思います。文学館に何度も足を運び、前日はリハーサルにも来られました。

14 日（土）、いよいよ当日です。受付、バス内での進行、文学館・生家案内等すべて運営委員の生徒さんによって進められました。3 班に分かれての見学でしたが、皆さん、堂々と案内されていました。資料も生徒さんの手書きだそうです。私たち職員はただただ見守り、感心するばかり。牧水先生も目を細めながら皆さんの活躍を見守られたことでしょう。



運営委員が牧水先生を、文学館を、説明しました



限られた時間、熱心に見学いただきました



文芸部門作品集より

夕焼けの光を鈍く跳ね返し朱に染まりゆく硝子の欠片
似合うかしら鏡の前で問う君の手元にドレス「イインジャナイノ」
たんぽぽをねだるあの日の泣き顔と似ても似つかぬ今日の花嫁

かけら

福岡中央高校2年 轟 幸希子
大分商業高校3年 竹内 若菜
那覇高校 3年 大浦ともか

また出逢いをいただきました

皆さんは、熊本県馬見原^{まみはら}に行かれたことはありますか。馬見原にも牧水歌碑があります。平成 14 年建立当初は石段を 100 段ほど上った稲荷神社境内に建てられたとあります。その後、ひとりでも多くの人に見てほしいという思いから、イヅノヤ呉服店前にその歌碑を下したそうです。歌碑建立から移転まで中心となり尽力された方が 12 月に俳句会お仲間と来館されました。

その方は、本田^{あきら} 彰さん。山登り、俳句、短歌等々いくつもの趣味をお持ちの方です。短歌を詠み始めたのは 40 数年前。途中ブランクを経て再開。その間に俳句会を立ち上げ、月例会句会を欠かすことなく継続されているとのことでした。



本田さん(右から 2 人目)を囲み
俳句会のみなさん [2019. 12. 8 来館]

開け放つ牧水生家舞ひ込みし花びら遊ぶ土間に座敷に 本田 彰詠(熊日新聞 伊藤一彦選)

坪谷には幾度となく来訪されている本田さん。歌碑建立、「馬見原ハシャレタ町ナリ」と題した随想を町広報誌に連載するなど、牧水先生への想いと馬見原への愛を深く感じました。ちなみに、牧水先生は、明治 35 年 11 月 9 日に馬見原を訪れており、「馬見原ハシャレタ町ナリ」と日記に残しているのです。

牧水先生を介して、今回も出逢いをいただきました。

本田さんほか多くの方がご尽力された馬見原の歌碑をぜひ、訪ねてみたいものです。

山の宿の固き枕に夢と呼ぶ秋の女神の衣白かりき 牧水^{きぬ}

平成 14 年(2002) 11 月 9 日 建立

第7回 マスターズ短歌甲子園 大学生から97歳までの詠み人 集う

12 月 22 日(日) 青の國若山牧水短歌大会表彰式終了後、マスターズ短歌甲子園が開催されました。大学生から 97 歳までの詠み人たちが集い、自作短歌を披露し、歌に寄せる思いを訴えました。年齢層に伴い、奥行きに広がりが見られた大会となりました。

参加チーム	「日高チーム」	日向市の短歌愛好家	(日向市在住)
	「あさひ短歌愛好会」	旭化成 OB	(日向市・門川町在住)
	「はにわのマーチ」	宮崎大学短歌会学生・OB	(宮崎市在住)
	「みつあみ」	短歌結社「心の花」会員	(宮崎市在住)

題 詠	1 回戦「和」	2 回戦「古」
-----	---------	---------

団体【優勝】 「はにわのマーチ」 【準優勝】 「みつあみ」

個人賞【若山牧水記念文学館長賞】 長渡 栄子さん「日高チーム」

額縁の円きに草書の和の字あり花鉢のある小さき事務所に

【日向若山牧水顕彰会長賞】 加藤 積さん「あさひ短歌愛好会」

手を広げ和が輪となりて丸くなり世界の平和五輪で描く

【俵 万智賞】 久永 草太さん「はにわのマーチ」

明日帰る留学生とともに食う和製英語のソフトクリーム

【大口 玲子賞】 久永 草太さん「はにわのマーチ」

父母の酒にまみれた馴れ初めを聞きおり考古学者のように

【笹 公人賞】 増田満美子さん「みつあみ」

晴天に岩は大きくあらわれて本日鬼の洗濯日和

今後の予定

詳細については 改めてお知らせします

日 時	内 容	会 場
1 月 19 日(日)	高森文夫を偲ぶ詩大会表彰式 9:30～	若山牧水記念文学館
21 日(火)	企画展 若山牧水賞 3 月中旬まで	若山牧水記念文学館
2 月 12 日(水)	第 24 回若山牧水賞授賞式及び受賞祝賀会	宮崎観光ホテル(宮崎市)
2 月 13 日(木)	若山牧水賞受賞者 文学館来訪	若山牧水記念文学館
	若山牧水賞受賞者 学校訪問	日向市内の高校(予定)
	若山牧水賞受賞者 受賞記念講演会	カルチャープラザのべおか
3 月中旬～	企画展 三浦家寄贈資料公開展「繁と敏夫 受け継がれた二人の絆」(仮称)	